

特別部門

下水道分野における国際技術協力の推進

福岡県北九州市

北九州市は、かつて我が国で最も激甚であったと言われる公害を市民・企業・行政が一体となって克服した経験を活かし、開発途上国、特に急激な経済成長を遂げているアジア地域の国々に対し、下水道分野における国際技術協力に取り組んでいます。その活動は1990年に始まり、長期かつ継続的に行われています。近年は、関係機関と協力を行い、都市間協力等の地域レベルでの国際協力に取り組むなど、相手の実情に応じた総合的支援を実施しています。今後も、水環境の再生に取り組んでいる国や都市の支援を続け、地球規模での持続可能な社会形成に寄与していきたいと考えています。

国際技術協力の実績

(1990年4月～2008年12月末)

【海外への職員の派遣】

- ・長期（1年以上）：4回（4名）、3ヶ国（韓国、インドネシア、マレーシア）
⇒派遣国に対する下水道政策の企画立案のアドバイス、進行管理などを実施
- ・短期（1年未満）：24回（延べ35名）、5ヶ国（ボリビア、インドネシア、中国、タイ、サウジアラビア）
⇒下水道技術資料の作成、セミナー開催、処理場運転管理指導、経営指導などを実施

【海外からの研修員受入】

- ・回数：87回（延べ690名）
- ・国数：82ヶ国（中国、韓国、マレーシア、フィリピン、クウェート、モロッコ、ブラジル他）
⇒下水道の計画論から、設計・施工技術、維持管理や経営手法までの講義のほか、処理場や管渠の維持管理現場の視察、先進事例の紹介などを実施

【最近の主な事例】

- ・中国雲南省昆明市水環境整備事業に係る提案型調査（2006年、JBIC（現JICA）と共同）
- ・サウジアラビア国下水処理施設運営管理指導（2007年、JICAと共同）
- ・インドネシア国スラバヤ市水環境改善指導（2007年、JICA・CLAIRと共同）



北九州市での下水道工事現場研修の様子



中国昆明市での市民セミナーの様子